



青少推だより

2022
10月1日
第55号

館林市青少年育成推進員連絡協議会 編集発行

特別寄稿

「青少推だより第55号の発行に寄せて」

教育長 川島 健治



青少推だより第55号の発行を心よりお祝い申し上げます。また、推進員の皆様には、日頃から青少年の健全育成にご尽力いただき厚く感謝申し上げます。

さて、依然として続くコロナ禍の影響もあって、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。様々な制限のかかる生活の中で、不安やストレスを抱えている子どもも少なくありません。また、不登校やSNSによるトラブルが増加傾向にあり、深刻な社会問題となっています。

教育委員会といたしましては、学校・家庭・地域のより一層の連携協力を推進するため、今年度より市内全小中学校にコミュニティ・スクールを導入し、子どもたちが心身ともに健やかに成長するための支援を行ってまいります。推進員の皆様におかれましても、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

少年の主張館林市大会

六郷地区 須永 敏弥

第44回少年の主張館林市大会が7月2日(土)文化会館カルピス[®]ホールで開催されました。昨年はコロナ禍の影響で無観客でしたが、今年は感染症対策を徹底して有観客で実施しました。市内中学校より選出された10名の代表者が日頃考えている身近な出来事や社会問題に対して、壇上から来場者に向かって熱く力強く意見を発表しました。発表内容や表現はどの生徒も素晴らしく、自分の考えを素直に表現する姿に心を打たれました。

●上位3名以外は発表順に掲載しています。

最優秀賞



「『懸命に生きる』意味」

第三中学校 1年
いわざき 琉華さん

優秀賞



「方言を守る」

第一中学校 3年
さとう あい
佐藤 亜衣さん

優良賞



「10%の世界」

第二中学校 2年
えびすたに もとのぶ
戎谷 基伸さん



「時の期限」

多々良中学校 3年
いじま さわ
飯島 桜和さん



「みんなちがって、みんな同じ」

第二中学校 3年
こばやし けい
小林 慶也さん



「給食の残飯から思うこと」

第四中学校 3年
うずがわ ともひろ
宇治川 友優さん



「受け入れるということ」

第三中学校 3年
おんだ ひなは
恩田 雛羽さん



「震災遺構について考える」

第一中学校 3年
あいかわ なつぎ
相川 夏嬉さん



「ありがとうを伝える」

多々良中学校 3年
やまぐち かおん
山口 翔央音さん



「『普通』や『変』について」

第四中学校 3年
たけい こうたろう
武井 鼓太郎さん

●岩崎琉華さんと佐藤亜衣さんは、8月20日(土)に太田市数塚本町文化ホール(カルトピア)で行われた「東毛地区大会」に出場し、優秀賞を受賞しました。



中学校訪問

第一中学校

中部地区 青木 甲子

6月17日の中学校訪問では、校務多忙の折集まっていたいただいた校長先生、教頭先生、教務主任の先生、生徒指導主事の先生を迎え、中部・南部・北部地区の青少推と補導員会が一堂に顔を合わせることができました。学校の状況としては、修学旅行、体育祭、市大会等が再開され学校生活は復活の兆しを見せる中、不登校生徒の対応や家庭問題を抱える生徒のために市・子育て支援課との連携が重要な問題であるとのことでした。質疑応答では、コミュニティ・スクール、不登校生徒の対応、ヤングケアラー等の話題から、インターネット関連、学校でのタブレットの取扱い、ネットパトロールについて活発な議論がなされました。このような会合でお互いに顔合わせすることにより、パトロール等で異常が生じたとしても学校とも話が通じやすく、迅速に対応できるものと確信しました。



▲第二中学校

第二中学校

大島地区 荒井 隆志

6月22日に青少推、補導員会、民生委員ほか14名で第二中学校へ訪問させていただきました。先生方よりコロナ禍におけるリモートでの授業や生徒指導のやり方などパソコン画面を使って説明を受け、部活動や学校行事への対応を伺いました。登下校の交通危険箇所の確認や不登校生徒への対応などの話し合いもあり、実際の中学校生活を知ることができる良い機会でした。

第三中学校

三野谷地区 田口 孝貴

6月21日に青少推、補導員会ほか11名で第三中学校へ訪問しました。校長先生からは、行事について制限がある中でも体育祭、修学旅行等が実施できたことや、現状の課題等を説明していただきました。意見交換では、生徒と車との接触事故等が数件あり交通指導を行っていること、スマホ等のSNS問題、不登校生徒の現状等について話し合いました。これらの情報を今後の青少推活動に活かしていきたいと思います。



▲第三中学校

第四中学校

赤羽地区 渡辺 政浩

6月27日に赤羽・六郷地区の青少推と補導員会は、合同で中学校訪問を行いました。校長先生、教頭先生から現在の生徒の状況や課題等を説明していただき意見交換することができました。良い点としては、生徒たちは全体的に落ち着いていて、部活動やイベントに積極的に参加しているとのことでした。今後の課題としては、不登校生徒への対応、交通事故等の不慮の事故への対応、ネグレクトの早期発見、時期的なものとしてスズメバチへの注意をあげていました。課題への対応に関しては地域の皆様の協力も大きな助けになります。今後も青少推としての立場だけではなく近所のおじさんとして、児童・生徒の見守りをしていきたいと思っています。

▼多々良中学校



多々良中学校

多々良地区 川崎 由美子

6月28日に多々良中学校を訪問させていただきました。先生方から生徒たちの学校生活の様子や、コロナ禍ではありますが学校行事や部活動等少しずつ通常どおり行うことができていること、SNS(LINE等)でのトラブル等のお話を聞き、情報交換させていただきました。今回の学校訪問で得た情報を地域とも連携し、子どもたちの成長を見守る活動を行ってきたいと思っています。先生方どうもありがとうございました。

《事業報告》 長引く紛争により支援を必要としているウクライナの子どものために、青少推から日本ユニセフ協会へ85,000円の寄付を行いました。また、9月3日(土)にコスメ・ニスト千代田町プラザで開催された東部圏青少年育成推進研修会に参加し、子どもの心と親子関係の講演を聴講してきました。